

# 地震災害への対応 まったなし



篠原 敏宏  
(市政同志会2015)

## ◆地域防災計画の見直し

**問** 現在の塩尻市地域防災計画の内容は、想定地震規模や被害想定等のデータが古い。危機意識に甘さがあるのではないか。

**答** 現在の計画は平成14年の防災アセスメントによるもの。今年度アセスメント調査を実施しているので29年度にこれを反映した塩尻市地域防災計画を新たに策定したい。

## ◆応急仮設住宅の建設候補地

**問** 災害時の応急仮設住宅建設候補地については6月中旬に県に報告するということだったが、報告内容はどのようなものか。学校施設は避けるべきと考えるがどうか。

**答** 建設候補地として市内各地区内の16箇所について、それぞれ敷地面積、建設可能戸数、地形、ライフラインの状況等を県に報告した。地区によっては小学校も2校入れざるを得なかった。

## ◆総合防災訓練の成果

**問** 9月4日に行われた今年

## 度の総合防災訓練の成果は。

**答** 今年は自助共助の意識付けのための住民参加型訓練、移動系防災行政無線を活用した情報伝達・情報収集訓練と松本広域圏3市5村合同医療救護訓練を主な目的に北小野地区で実施した。多くの住民参加を得て中身の濃い訓練ができた。医療救護訓練では医師会の協力を得て初めて実際に市内小中5校に救護所を立ち上げることができた。

## ◆その他の質問事項

ポケモンGOの地域への影響について質問した。



社協によるボランティアセンター受付の様子ー市民総合防災訓練で

# 市民協働化基盤 有償ボランティア制の必要性を提案



村田 茂之  
(市政同志会2015)

## ◆有償ボランティア制の提案

**問** 一般にボランティアは①自主性②社会性③創造性④無償制⑤継続性が基本だが、よ

りやがいがい・継続性を加味し有償制もありうるのではない

か。市内でも地域買物支援や高齢者輸送など動きも出ている。また全国的には介護支援、健康増進支援、環境保全・エネルギー活動、地元産品購入面で既に実施している自治体も多い。当市は情報政策の企画力も高いことからマ

インナンバーカードなど電子カードの利用も含めた「塩尻地域ポイント活用システム」を提案したいがどうか。

**答** 健康福祉面では勉強会の開催、教育・コミュニケーション面では学校支援ボランティア活動交付金などあるが現在マイナンバーカードなど電子カードを使った有償化は考えておらず、今後研究していきたい。

## 施策について

**問** 子育て環境のサービス向上については「日本一レベル」のサービスについてどのように検討・推進しているのか。

**答** 庁内部局横断「日本一プロジェクトチーム」で事業化の磨き上げと本市の強みにさらに磨きをかけ、課題を乗り越えて「塩尻に住んでよかった。」を実現していきたい。

## ◆その他の質問事項

松くい虫の拡散状況と今年度対応状況と、危機管理計画の必要性について、質問した。



「いつ起こるとも…」危機管理体制の見直し